

甘 「野市製糖生産組合」黒糖づくり 甘い香りに包まれて

サトウキビを生産している農家約60戸が組織する「野市製糖生産組合」は、毎年黒砂糖づくりを行っています。

昨年末、野市町大谷にある加工場で黒糖づくりの最盛期を迎えました。生産者ごとに持ち込んだサトウキビを搾り、大きな釜で煮込んでいくと、甘い黒糖の香りが加工場を包んでいました。十分に煮詰めた後、冷ましたら黒糖のできあがり。サトウキビのでき具合によって黒糖の味も変わるため、生産者ごとに味が違うとのこと。組合では栽培農家を増やすため、サトウキビの苗を無料で提供しています。詳しくは14ページをご覧ください。



▲煮詰めた搾り汁を流し込んで冷まします

ひ “デコトラ”イルミネーション祭り と味違ったクリスマスを

平成29年12月23日(土)ごめん・なはり線の開通15周年のお祝いを兼ねて、公認改造でデコレーションを施したトラック(通称:デコトラ)で彩るクリスマスイベントが香我美駅前で開催されました。

香我美町青年団OB会がメンバーの特技を生かした地域貢献を話した際、部品の溶接など手作りする30年来のデコトラ愛好家で専門誌の表紙を飾るほどの有名車を所有しているメンバーがいることから、愛好家仲間も協力し催されました。また、往年の青年団演芸会で鳴らした演奏やハンドベルに挑戦したりしました。



▲たくさんの電飾に訪れた人たちは興味津々

弁 土佐のお笑い話芸の会 天座で初笑い

1月8日(月)今年で2回目となる新春爆笑寄席「土佐のお笑い話芸の会」が弁天座で開演されました。演者と観客が一緒になって大きな声で「わっはっは!」と両手を上にあげ笑いあう、福を招くとされる初笑いでは、弁天座いっぱい声が響き渡りました。

この寄席では演者の見事な口上に加え、まんじゅうをほおぼったり、うどんをすすったりするリアルな所作も見所のひとつ。時には舞台と観客席との間でやりとりを楽しむ新春寄席は、弁天座の新しいお正月の風物詩となっています。



▲会場みんなで初笑い

地 文化財防火デー消火訓練 地域の文化財を火災から守る!

毎年1月26日は「文化財防火デー」に制定されています。それに合わせ、香我美町上分の「八王子日吉神社」社殿付近から出火したとの想定で、1月21日(日)消火訓練が行われました。

香我美消防団(第一、第二分団)と香南消防本部から59人、7車両が参加。出火の連絡を受けた消防団員たちが屯所を出動。迅速に連携し、近くの川から水を確保、ポンプ車へ連結して出火想定場所への放水を行いました。



▲発煙筒からの煙に包まれる中、放水開始!



アトラクションでは高知出身の
ガールズバンド「sympathy」が楽しませてくれました。



祝 成人2018 Snapshot at the ceremony



久しぶりに会う友だち
もたくさんでした!!



スーツもビシッと着こなして、
いつの間にかもう大人だね!



▲今回の実行委員と「sympathy」の皆さん